

新しい公共を担うNPOの課題を解決し、活動基盤を強化する

新しい公共支援事業 事業概要

1. NPO等の活動基盤整備のための支援事業 (基盤整備)

NPOの活動が社会に認められ、寄附や融資を受けようとする場合は、自らの財務状況等を適切に開示することが必要であり、協働相手とのネットワークを強化するためにも、適切に情報発信を行うことが必要であることから、活動基盤を整備し、その透明性や健全性の確保を支援しました。

2. 寄附募集支援事業 (寄附募集)

NPOが寄附集めのノウハウを習得し、寄附を受け取ったNPOと寄附者、両者の顔が見える関係づくりを積極的に進め、今後の寄附文化の醸成に向けた支援を行いました。

3. 融資利用の円滑化のための支援事業 (融資円滑化)

NPOの活動資金を金融機関等から調達する場合の事業計画書や資金計画書など、融資を受けるスキルアップにより、金融機関等による融資の円滑化を推進しました。

静岡県が実施した事業

NPOの組織運営について総合的に支援をしました。(基盤整備・寄附募集・融資円滑化)

- マネジメントを強化するNPO個別支援事業：NPO法人アットコミュニティ

NPOの組織づくりや運営を支援する中間支援機能の強化を図りました。(基盤整備)

- 中間支援事業の人材育成講座：NPOサポートしみず
- NPOの経営支援・コンサルタント養成事業：NPO法人市民フォーラム21・NPOセンター
- 中間支援担当者派遣研修事業：NPO法人東海道・吉原宿

NPOの情報発信力の強化を支援しました。(基盤整備)

- 使おう!WEBメディア! 作ろう!WEBデザイン!: NPO POPOLO
- SNSを活用したNPO向けICTコンサルジュマネジメントサポート事業：NPO法人駿河地域経済支援研究所
- NPO向けITを利用した広報活動の啓発支援事業：静岡放送株式会社

地域における多様な主体による協働を推進するため、協働ブックを作成しました。(基盤整備)

- 協働のルールブック作成事業：NPO法人東海道・吉原宿

寄附募集の手法の習得、融資を含めた資金調達力強化に向けた個別支援等を行いました。(寄附募集、融資円滑化)

- ファンドレイジング入門とNPO経営徹底支援事業：株式会社ウイズダムバンク

CSR活動を通じたNPOへの寄附手法について、企業にPRを行いました。(寄附募集)

- 企業が気づくCSRの1つのカタチ～まずはNPOへの寄附・社会的意義の理解促進～：コスト株式会社静岡

NPO活動の広報を行い、活動への寄附を支援しました。(寄附募集)

- 協働の気運醸成を図る、活動を可視化した広報展開：株式会社コムサイド
- 寄附募集に導くためのNPO団体の活動周知と支援事業情報の発信：株式会社エイエイピー
- 中部地区に特化した全社体制での紙面キャンペーン：株式会社静岡リビング新聞社
- テレビを効果的に活用した、集中的かつ全県的な広報事業：株式会社静岡朝日テレビ

NPOの組織運営に関する総合的な支援を通じて、中間支援機能の強化を図りました

3つの柱でNPOの活動を強力にバックアップ!

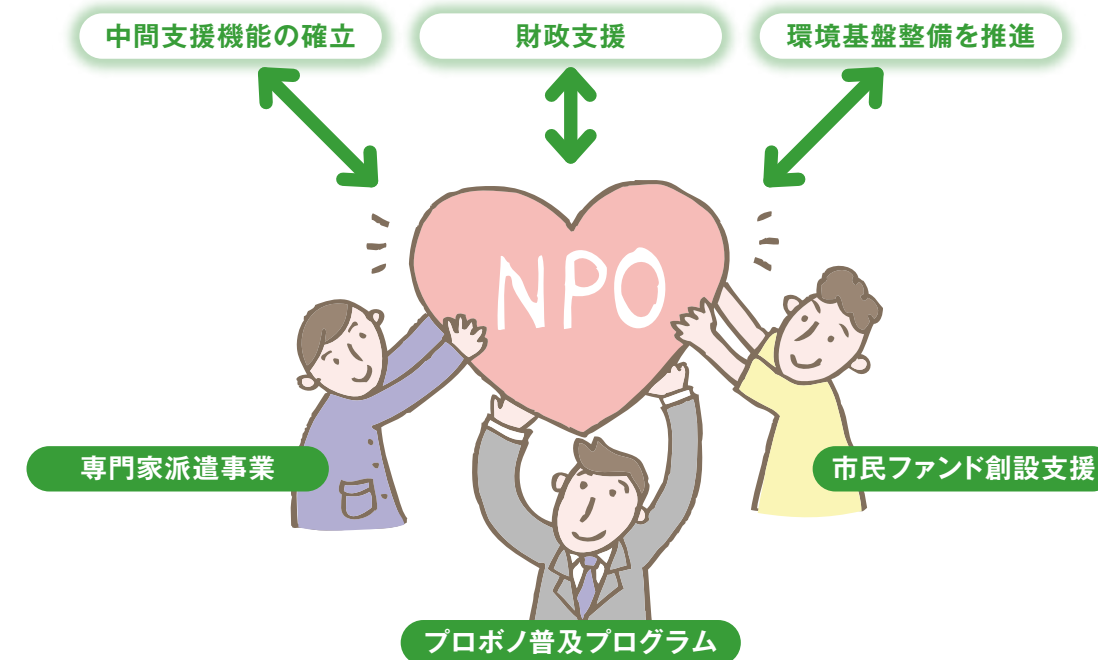
NPO等基礎体力づくり及び中間支援機能強化事業 (基盤整備・寄附募集)

主体 ● NPO法人プラットフォーム静岡・株式会社ウイズダムバンクコンソーシアム



目的は?

専門家派遣やプロボノによりNPOなどの環境基盤整備を推進し、併せて中間支援機能の確立やNPOなどの財政を支援する市民ファンドの設立も目指します。



NPOへの専門家派遣を通じた中間支援機能強化

NPOが公共を担うためには、適正で、確実な組織運営を行う必要があるため、中間支援団体が各NPOに適切な運営を行うための相談や助言を行っています。この事業では、個別NPOへの組織課題に応じた専門家(公認会計士、IT専門家など)派遣を、地域の中間支援団体と協働で行い、NPOの課題解決を支援するとともに中間支援の機能強化を図りました。



専門家派遣(公認会計士)

プロボノ普及プログラム

「プロボノ」とは、専門的な技術を持った方がボランティアとして、一定期間、個別NPOを支援する仕組みです。NPO法人サービスグラントの協力の下、本県へのプロボノ制度の導入を図りました。フォーラム等の開催を経て20名のプロボノワーカーの登録があり、実際にプロボノチームを組み、NPOの支援を行い、その経過をパンフレットにまとめ、広くPRしました。



プロボノフォーラム

市民ファンド設立支援

多くのNPOが活動を改善したり、拡大するためには、新たな財源が必要ですが、なかなか資金調達できません。静岡県では「ふじのくにNPO活動基金」を設置し、NPOの資金調達の支援を行っていますが、行政の枠組みの中で様々な制約があります。この仕組みを民間に引き継ぎ、より充実させ、使いやすい仕組みとするために市民ファンド設立について若手の中間支援担当者による研究を行うとともに、その必要性をアピールするために「市民ファンドフォーラム」を開催しました。



市民ファンドについて研究

寄附やプロボノの推進は社会貢献活動の選択肢を広げ、多様な地域課題に地域全体で取り組む社会づくりにつながります。その仕組みを作り、運営を担う中間支援は「新しい公共」を進める上で重要であり、さらなる充実が求められます。